



観 光
部 会

10月25日(木)

～城下町鶴岡を学ぶ～
「鶴ヶ岡城」についての勉強会

(参加者/28名)

昨年引き続き、市民の皆様が「鶴ヶ岡城」についての知識を深め、城下町鶴岡としての魅力をどう発信していくかを考える機会として勉強会を開催しました。
今回の講師である庄内神社の石原純一宮司(観光部会副部長、鶴岡観光協会会長)は講演で、鶴岡市の成り立ちから鶴ヶ岡城の変遷を古地図や写真等の資料を用いて解説。その後、参加者は石原宮司の案内で、鶴ヶ岡城址(鶴岡公園)を歩きながら御隅櫓跡や土塁、お濠、堀の土台にしたとみられる金峯山から運んだ石材、明治30年頃から植えられた染井吉野などを視察しました。
勉強会終了後、社会基盤整備委員会を含む商工会議所メンバーと鶴岡市建設部幹部は、鶴岡公園とその周辺整備について意見交換を行いました。今後も引き続き、城下町らしい雰囲気づくりに向けて協議、検討して参りたいと思います。



10月18日(木)

宮城県白石市「白石城」視察研修
～復元から続日本100名城までの軌跡を巡る～

(参加者/8名)

白石市は、宮城県の最南端、福島県との県境に位置し、蔵王連峰の麓、清流・白石川が市内を流れ、掘り割りや武家屋敷が今も残る静かな城下町。
今回はまず、白石市役所総務部企画情報課の遠藤輝雄課長、橋谷田孝治課長代理、齋藤貴之係長より、白石城復元の経緯や現在の状況を中心にお話しいただきました。現在は市民の生涯学習の場として、茶道家元を招いての「茶会」や、平成20年度から毎年10月に開催している「鬼小十郎まつり」など、白石城を拠点とした交流人口を増やす努力を、市民と一丸となって取り組んでいる印象を受けました。
続けて、市役所の皆様から直接説明を受けながら白石城と武家屋敷を実際に視察し、参加者も多くの収穫があった様子。同じ城下町である鶴岡も、行政と経済団体、市民がいかに一体感を持って観光振興を推し進めていくべきか考える、いい機会となりました。



第三学区
鶴岡市勤労者会館 11/20(火) 午後6時30分～ 参加者/15名
上郷・豊浦地区
由良「民宿 本間義一」 12/5(水) 午後6時30分～ 参加者/15名

移動商工会議所 開催報告
今年で3年目となる移動商工会議所において、各支援施策・補助金等の活用事例や当所の経営支援事業、また消費税の改正について紹介し、引き続き懇親会の中で経営上の諸問題をお伺いするなど情報交換を行いました。

- 10月 報告事項**
- 9月～10月の各種会議報告
 - 社会基盤整備に係るシンポジウム開催報告
 - 鶴岡市共通商品券「荘内藩藩札」発行実施報告
 - 各部会視察研修等報告
建設工業部会/金融部会/観光部会/工業部会
 - 鹿児島商工会議所訪問報告
- 協議事項**
- 新会員の承認について
 - 平成31年度鶴岡市への要望事項について
 - 第57回鶴岡商工会議所会員企業従業者表彰者について
 - 第15回創業・創立記念会員事業所顕彰事業所について
- ゲストスピーチ**
[テーマ]
第3次鶴岡市地球温暖化対策実行計画について
[講師]
株式会社商工組合中央金庫酒田支店長 米山哲夫氏
鶴岡市 市民部 環境課 課長 伊藤慶也氏

- 11月 報告事項**
- 10月～11月各種会議報告
 - 管内の7月～9月期景況調査集計結果について
 - 採用関連実態調査報告
 - 平成31年度鶴岡市への要望書提出報告
 - 各部会視察研修等活動報告
小売商業部会/運輸交通部会/観光部会事業
 - 東京商工会議所江戸川支部青年部来鶴報告
 - 当所青年部創立60周年記念式典開催報告
 - 第21回会員親睦ゴルフコンペ開催報告
- 協議事項**
- 新会員の承認について
- ゲストスピーチ**
[テーマ]
最近の経済情勢について
[講師]
株式会社商工組合中央金庫酒田支店長 米山哲夫氏

- 定例常議員会**
- 12月 報告事項**
- 11月～12月の各種会議報告
 - 「鶴岡ものづくり企業懇談会」開催報告
 - ビジネスマッチ東北2018出展報告
 - 第57回会員企業従業者表彰並びに第15回創業・創立記念会員事業所顕彰開催報告
 - 当所中間監査実施報告
 - 女性会活動報告
- 協議事項**
- 新会員の承認について
- その他**
- 平成31年新年祝賀会について
 - 「鶴岡地区企業採用ガイド2020」掲載企業募集について



視察先:株式会社タダノ 志度工場(香川県 さぬき市)

世界大手級のクレーンメーカー、株式会社タダノは本社を香川県高松市に構え、全国・海外それぞれに拠点を置き、建設用クレーン・高所作業車などを製造。視察先の志度工場では主にオールテレーンクレーン・ラフテレーンクレーン・トラッククレーン、また、海外向けクレーンも製造しており、迫力満点で見てえのある工場でした。アジア・中東などを中心とした海外のクレーン市場では、50トンクラス以上の吊り上げ能力、悪路走行にも応える高機能が求められています。高品質で安全な『Made in Japan』への要望に応えるための取り組みが多く見られました。クレーンのような大きいサイズになると、ひとつのものを作り上げるまで何力所かの工場に分けて組み立てていくのが一般的ですが、志度工場では、ひとつの工場で完成まで組み立てていました。工場入口からまっすぐ歩いていくと、完成までの製造工程を一から見る事が出来ました。また、社員一人一人がその日の目標を立てて、常に全員の目に入るようにボードに目標を記載していました。

面白いと思ったのは、社員の挨拶は「ご安全に!」と言うようにしていること。ひとつの工場で作るからこそ、各チームの一体感や安全第一を大事にする取り組みが見られました。その社風を感じるものが多かったのか、部会員も大変興味を示しており充実した視察研修となりました。



場所/鶴岡市「新茶屋」

- 11/13 建設工業部会 第10回鶴岡市建設当局との懇談会**
- ◎平成31年度 鶴岡市の主要施策についてのご説明
鶴岡市建設部 部長 増田 亨 様
鶴岡市農林水産部 参事 斎藤 智博 様
鶴岡市上下水道部 部長 佐藤 真 様
- ◎意見交換会/鶴岡市施策等についての質問要望、意見交換
◎交流懇親会/二年ぶりの開催となりました。はじめに鶴岡市建設当局の各部長・参事様より、来年度の市主要施策についてご説明をいただき、引き続き当所部会員から、昨今注目されている「働き方改革」「労働力の減少」等各課題への支援や、事業者間の工事契約・入札制度の改善などの要望・質問について、各部門の担当者の皆様より丁寧なご回答・ご説明をいただきました。



場所/東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所、燕三条工場の祭典KOUBA(株)外山製作所、(株)諏訪田製作所、燕市磨き屋一番館、今代司酒造(株)

- ◎東京電力(株)柏崎刈羽原発/平成20年以來の再訪。原子力発電の意義や原子炉構造の説明を受けた後、発電所構内を見学しました。東日本大震災の福島第一原発事故を踏まえ、耐震工事や津波への対応等大規模な安全対策が進められ、再稼働に向けて準備が進められていました。
- ◎燕三条工場の祭典KOUBA/新潟県燕三条地域の《工場・耕場・購場》を一般に開放し、地域の技術力をアピールするイベント。視察では、前述の3つの工場を見学し、金属加工を中心とした高い技術力を学びました。
- ◎今代司酒造(株)/1767年創業、新潟市で純米仕込みのみを製造・販売する酒造会社。酒蔵やラベルはモダンデザインで統一され、代表作の「錦鯉KOI」はグッドデザイン賞を獲得。酒蔵に併設された直売所は試飲もできる日本酒ブティックになっており、インパウンド等の観光誘致にも力を入れていました。



場所/秋田県大曲市

- 10/26 小売商業部会視察研修**
「大曲の花火」開催日以外も魅力ある街へ…個店の魅力向上の取り組み
- 例年8月に開催される「大曲の花火」には80万人もの観光客が訪れ商店街も大いに賑わいますが、それ以外の日は、人口減少やモーターレーゼーションの発展にともなう郊外型大型店舗の出店などの影響で、商店街への来街者数は年々減少。昭和40年代までは約3km続いていた商店街も、現在は350mまで縮小しました。
- このような状況を打開しようと平成20年に「親子三代ともに楽しく暮らせる街づくり」「買い物(商業)観光として質の高い店・人・モノづくり」を目標に掲げ、地域の有志グループや行政などと連携し、まちゼミの実施やまち歩きマップの作成、街中マーケットなどを開催。商店主が様々な意見を出し合い、商店街主導による地域活性化の取り組みを伺いました。
- また、8月に完成した花火伝統文化継承資料館「はなび・アム」では、はなびシアターの4面スクリーンで高精細な4K映像による迫力ある花火映像を体験しました。
- 参加者より「実際にまちを見て話を聞き、学ぶことが多かった」との感想があり、有意義な研修となりました。